

会報 **かなづ**

発行者：金津コミュニティ振興協議会
発行人／青木貞義 編集／総務部

事務局

住所 〒956-0847
新潟市秋葉区古津 597 番地
TEL 0250-25-1101
メール kanadukomikyo
@tune.ocn.ne.jp

金津地区人口

世帯数 2,917 戸 (2870 戸)
人口 6,949 人 (6930 人)
男 3,387 人 (3375 人)
女 3,562 人 (3555 人)
2020. 12 月末現在 (2019. 12 月)

事務局

金津地区コミュニティセンター
「活動登録団体」説明会を開催
します。

令和3年度の金津地区コミュニティセンター
「活動登録団体」の説明会を開催します。

登録は、金津地区住民の親睦と融和を図ることを
目的とし、金津地区コミュニティセンターを
利用し活動する団体を対象とします。

◆日時：2月14日（日）13時30分～

◆場所：金津コミセン大ホール

◆申し込み受付期間：
2月2日（火）～2月20日（土）

【団体の登録条件】

①団体の活動目的が、地区住民の親睦を図るなど
福利厚生に寄与するものであること。

②団体の活動が、営利活動（対価を得て行う活
動）、宗教活動及び政治活動でないこと。

③団体の代表者は、地区住民であること。

④団体の構成員が未成年者の時は、代表者は保護
者（成年）であること。

⑤登録団体の申請にあたって、適格性を確認する
ため構成員名簿や会則などの提出を管理者から
求められたときは、これに応じなければならない。

⑥登録された団体は、金津コミュニティ振興協議
会が行う活動に協力要請されたときは、協力しな
なければならない。

⑦登録団体として認可された団体は、年間登録料
3,000 円で大ホール・中ホール・和室・調理室を、
午前・午後・夜間、それぞれ1回500円で利用で
きます。

文化教養部

第4回金津の里あれこれ懇話会
「燃ゆる水の里」三部作より



「金津の里あれこれ」
前編第11集に「荒野をさ
ぐる栄華の蹟」、第12集
「燃ゆる水の里 塩谷部
落」、後編43集「燃ゆる
水の里 朝日部落」という

著書が載っています。

いずれも「金津油田」の盛んな時のそれぞれの地
域の様子が書かれています。

これをまとめて取り上げます。

◆日時：2月27日（土）午後1時30分から

◆会場：金津コミセン中ホール

◆講師：高山 伶 氏

登録団体

「楽しい体操の会」会員募集の
ご案内



「楽しい体操の会」は
会員相互の健康づくり
のために毎週金曜日に
体操を行い健康づくり
の活動を行っています。
会員を募集致します。



現在の会員は、女性会員52名、男性会員4名
です。貴方も参加しませんか。

◆活動日：毎週金曜日、
午前10時～11時30分迄

◆場所：金津コミセン大ホール

◆会員申し込み：随時受け付けています。
尚、無料体験を実施中です、見学も自由です。

◆問い合わせ先：楠原 さん迄

登録団体

「足寿命ウォーキング」参加者を募集します。



16年間で約2万人の足を走ってきた講師が「足の寿命」を延ばすための効果的な足の使い方、お年寄りや運動習慣の少ない方でも簡単にできるトレーニング法を教えます。

◆日時：毎週水曜日
10時30分～11時30分

- ◆場所：金津コミセン中ホール
- ◆受講料：500円
- ◆申し込み先：中野さん 迄

総務部

「金津地区散策マップ」より国指定史跡「古津八幡山遺跡」を紹介します。

平成17年(2005年)7月14日 国指定史跡になりました。



古津八幡山遺跡は、昭和62年(1987年)高速道路建設の土取り工事に伴う試掘確認調査で発見されました。



この調査で日本海側最北の高地性環濠である古津八幡山遺跡や新潟県最大の古津八幡山古墳、古代の大規模な製鉄遺跡群である金津丘陵製鉄遺跡群が見つかりました。古津八幡山遺跡のほぼ全てと古津八幡山古墳は遺跡の重要性を訴える保存運動により破壊を免れましたが、金津丘陵製鉄遺跡群は土取り工事によって失われ、現在は県立植物園となっています。

南北400m、東西150mの範囲から環濠・堅穴住居・土坑・墓(方形周溝墓・土器棺墓・前方後方形周溝墓)が見つかりました。方形周溝墓は環濠の外側につくられており、主体部である棺跡から鹿角製鉄剣や石鏃が出土しました。

地域包括支援センター

「新潟市地域包括支援センターこすど」から業務受託終了のお知らせ

新潟市より委託を受け、小須戸出張所2階で高齢者支援の総合窓口として開設しておりました「新潟市地域包括支援センターこすど」ですが、3月31日(水)をもちまして業務受託を終了することになりました。

4月1日(木)からは、新しい事業者が受託をし、業務を引き継ぐ予定となっております。新しい事業者が決まり次第、またお伝え致します。皆様には大変ご迷惑をお掛けすることと思っておりますが、何卒ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

15年間地域の皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

◆本件についての問い合わせ先は、「地域包括支援センターこすど」までお願い致します。

電話番号：0250-61-1855

総務部

「金津地区散策マップ」より国指定史跡「古津八幡山古墳」を紹介します。



古津八幡山古墳は直径60mの巨大な丸い形をした古墳(円墳)で新潟県内最大級の大きさです。



越後平野の王墓として、平野を一望でき、また平野から望むことのできる丘陵先端を選んで古墳は築かれました。越後平野の各地域の豪族が共同して推し立てた王(豪族の墓)であった可能性が考えられています。

古津八幡山遺跡は約1750年前の弥生時代終末期に高地性環濠集落が廃絶します。その約150年後、今から1600年前に古津八幡山古墳は築かれました。発掘調査では埋葬施設が確認されませんでした。古津八幡山古墳や周辺は、第二次世界大戦前後の畑地造成の際の土地の切り盛りによって地形が大きく改変されていました。明治期にあった八幡山や昭和51年(1976年)の大気観測所の設置時にも頂上の一部は削平を受けています。また、地元の方の証言によれば、畑地造成事にも頂上削られた可能性もあります。